

おら^{どお}の協^{きょうどう}Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが
広がる中で生まれる「おもっせえ」おおつち～

協働による地域・まちづくりを実践し、
人と人との出会いやつながりを生み出
している「おもっせえ」人や活動を紹
介します。みんなやっべし協働！



第9回目を迎えた地域に愛されるイベント 吉里吉里国「薪まつり」

森林資源の素晴らしさを学び、
郷土愛を育みながら地域の活性化
を目指すイベント、薪まつりが10
月30日、31日の2日間にわたり、
吉里吉里地区で開催されました。
東日本大震災の次の年から始まり
9回目を迎えたこのイベントには、
のべ400人以上が訪れました。
NPO法人吉里吉里国が主催、
吉里吉里分館が共催するこの祭り
では、繋がりのある団体などと地
域の人たちにより、毎年行ってい
る薪割り体験や、恒例となったピ
ザの振る舞い、ツリークライミン
グや馬とのふれあい、木工体験、
音楽ステージなど、さまざまナ
プログラムが催されました。

今月の「おもっせえ」POINT！

薪割りの「シンプルさ」と「奥深さ」

イベント開始当初から続けている、原点でありメインイベントの薪割りはとても単純で、子どもも大人も無心になってできると好評です。しかしこの薪割りは、子どもの成功体験の場であり、おじいちゃんやお父さんがかっこいいところを見せる世代間交流の場でもあります。また昔から生活の中にあつた大切な営みであり、子どもたちに生き抜く力を学ばせる役割も担っています。

この祭りが地域住民に愛されるのは、核となっているこの薪割り体験が、「地域の子どもは地域で育てる」という吉里吉里地区の理念に合致しているからなのかもしれません。

NPO法人 吉里吉里国
芳賀 正彦 理事長
はが まさひこ

薪まつりの1番の特徴は、来てくれた人全員が必ず何かを体験して帰るイベントであるということです。今回のツリークライミングや、馬に乗ることももちろんですが、ピザの具をみんなでトッピングしたり、音楽に触れあつたりと、全てが体験型のプログラムです。

意外と思うかもしれませんが、子どもたちに一番人気なのは薪割り体験です。コンビニなどですれ違う子どもたちから、「今年はいつやるの?」「またやりに行くからね」と声をかけられると嬉しくなります。

地域の人たちも、散歩がてら歩いて来てくれたり、90代のおばあちゃんも楽しみに参加してくれたり、みんなで盛り上げてくれています。これからも、地域に昔からあるものを地域の人や子どもたちと一緒に長く続けていく、そんな祭りにしたいと思います。